

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	地域の居場所づくり事業
事業主体 (連絡先)	特定非営利活動法人まちの縁側なから 長野県北佐久郡御代田町大字御代田2670番地67
事業区分	(8) その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	2,720,767円 (うち支援金: 2,042,000円)

事業内容

事業タイトル

〇こども食堂の開催

- こども食堂の開催に伴う施設改修
 - ・期間 6月3日～6月26日
 - ・場所 御代田町御代田2670-67 まちの縁側なから
 - ・改修内容 台所の床・壁面・シンクなど改修(別紙見積書)
 - 外壁の改修
 - ・期間 8月24日～9月18日
 - ・改修内容 1階は現在の板壁の上に鉄板サンディングを貼り、2階はリシン吹付け処理。近隣の景観に留意し全体に落ち着いた雰囲気に仕上げた。
 - こども食堂の開催
 - ・時期 6月23～3月16日
 - ・場所 御代田町御代田2670-67 まちの縁側なから
 - ・規模 1回につき平均20人(予定は10人以内) 月1～2回土曜日夕方
 - ・方法 様々な人が食を楽しむため、参加者一人ひとりが調理や片付けなどに役割を担う。前後に学習支援の時間を設けた。
また、こどもや保護者の悩み相談などにも専門員を含む多様な支援を行った。
- ・重点テーマに該当：
なからには学習塾「啓学塾」(小学生～高校生まで20数名在席)が併設されており、これまでも「食育」や「みんなで畑作・畑で卵かけごはん」などの催しに子ども達の参加が多い。その中で、年上の子ども達が年下の子ども達の面倒を見る様子や、新しく教わった事を習得していく様子、高齢者が子ども達と過ごす時間を楽しんでいる様子がみられる。



【まちづくり協議会によるそば打ち】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

【目標・ねらい】

- ①生活の知恵が伝わり易い場づくり
- ②居場所として感じてもらえること
- ③家事の出来るこどもに育ち、生活力のある大人になって欲しい。

- ①・家庭的な雰囲気で作業したり食事を楽しんだりすることで、生活の知がより伝わりやすい環境が作り出された。
- ②・どの世代に対しても孤食を減らし、生きることに重要な「食べる」ことを通じてホッとする居場所として存在することが出来た。それに寄って個々の生活に対しても安定感をもたらすことが出来た。
 - ・日常生活上の知恵が深まることで、一人ひとりが問題解決の能力を高めることが出来た。
- ③最も顕著に見えたのは、包丁裁きと食器の片付け・洗いであった。時間やルールを守ろうとする姿勢が高まり、楽しそうでありながら落ち着いた雰囲気で過ごすことができた。

※自己評価【 A 】

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

1年に満たない短い期間ながら、予想以上に良い成果が得られた。回を追う毎に手ごたえを感じることが出来たため、今後もこの形式で続けて行きたい。また、炊事だけでなく、他の家事も一緒に楽しみながら学べる場も追加する予定をしている。

続けていく上での最も大きな課題は費用の捻出である。学習ボランティアの高校生の交通費・食材費・光熱費を寄付だけに頼らず、継続的に助成してもらえる方法をつくりだしていかなければならない。その為、行政や企業と連携していけるよう働きかけていきたい。

もう一つの大きな課題は評価である。問題が起こってそれを解決するのではなく、問題が起こらないように、或いは問題が起こっても専門家を必要とする事態にならないようにするための取組である為、どれだけの効果があるかを数値化しにくい。

しかし、これまでの経験と今回のこども食堂を通じて、様々な人が日常的に交わることから得られる力の大きさを実感出来ているので、それを表現出来る方法を模索していきたい。同じ様な取り組みをしている個人や団体とも繋がって行きたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある